

令和6年度議会報告会 報告書

開催日時	令和7年1月19日(日) 13時00分～14時30分	会場	名張市役所 大会議室
相手方名	全市民	参加人数	37 人
出席議員	全議員		
	質問・意見	懇談会等での返答	対応
1	生活支援事業について(つつじが丘関係) 移動支援事業に関する補助金の増額、また、支給時期の見直しを求める。燃料や物価の高騰もあり、利用料を値上げせざるを得ない状況である。	要望として受け止め、執行部にも伝える。	■行政側に伝える
2	下水道移管について(梅が丘関係) 市との話が進んでいない。市は8割以上の住民の賛同を得てくださいというが、個人負担額がいくらになるかも分からない状況である。地震が起きた際に、機器が壊れれば、立地的にトイレの使用ができなくなるなどの問題もあり、一日も早く進めていただきたい。	まずは委員会を設立し、他地域もそうしているように、費用負担の件等を住民に理解してもらった上で、市と交渉しながらスケジュールを立てる必要がある。	■当日の返答どおり
3	上水道について 上水道施設に関する老朽化については、昔からある問題なので、どのくらいの費用が必要で、国からはどのくらいの支援がもらえるのか、具体的な数字を示していただきたい。そうすることで、住民側の意向もはっきりとするのではないかな。	水道に限らず、ごみの焼却施設など、老朽化に対する対応が先送りになっており、現在になって必要な経費が膨らんでいる。 名張市の水道料金は比較的安価であるが、そのために交付金がそれほど必要ないと判断されてしまうため、交付金の条件緩和等についてどのように国に求めていけるか産業建設委員会で検討を進めているところである。	■当日の返答どおり

	質問・意見	懇談会等での返答	対応
4	<u>市の財政について</u> 名張市は2028年に財政再生団体に転落する可能性があり、行財政改革プランを打ち出したと情報誌で拝見した。 このプランを実行すれば財政再生団体に陥らないと解釈してよろしいか。	このまま何もしなければ財政再生団体に転落するというのは事実であるが、議会としてもそうならないよう、来年度から特別委員会を立ち上げ、協議していく予定である。 (その他議員意見) ・市政の舵取りをよほど間違えることのない限り、名張市が財政再生団体になることはないと思う。しかし、今のまま何も変わらなければ財政状況は悪くなる。そうならないように、市民の皆さんも危機感を持って一緒に考えていただきたい。	■当日の返答どおり
5	<u>産科について</u> 市内で唯一の分娩を取り扱う産婦人科が、分娩の取扱いをやめ、市内における分娩機能がなくなった。「産み育てるにやさしいまち」として、せめて市立病院に分娩機能を持たせないと、子どもの数は減ってしまう。今の高校生や大学生は分娩機能がないまちで結婚して家を建てたいとは思わないはずで、将来の税収にも関わる問題である。	「産み育てるにやさしいまち」として子育て支援に力を入れてきた名張市にとって、分娩施設がなくなることは大きな問題であると認識している。名張市だけでなく広域で考えないといけない部分もあり、議会としても状況が改善されるよう検討していく。 (その他議員意見) ・市立病院で産科を設けるという話もあったが、独立行政法人化の関係で話が止まっている。県や国とも協議し、伊賀地域として安心して産み育てることができるよう、議会でも協議していく。 ・正常分娩が保険適用となる動きがあり、また、子どもも減っているため、閉院する産婦人科が増えている。今、産婦人科医になる人は大きな病院に集まり、開業医をする人が減っているという背景は知っておいてほしい。	■当日の返答どおり
6	<u>なばり新時代の大改革宣言について</u> 市広報で大改革宣言の記事を読んだが、どの地方でも直面している問題が挙げられており、期待が持てない。これから財政的にしんどくなると市民を脅しているようにしか思えない。財政が厳しいとは言えど、中学校給食など、将来につながるお金は出さなければ、まちは発展しない。	大改革宣言については、現状として宣言されただけであって、詳しい中身はまだ出ていない。改革案が出てきた時には、新年度に立ち上げる特別委員会において、集中的にその内容を確認し、議会として納得できる改革となるよう、市に意見を出していく。	■当日の返答どおり

	質問・意見	懇談会等での返答	対応
7	ふるさと納税について ふるさと納税で多額の寄附を集めている自治体がある。議会として市職員を動かし、より多くの寄附を集めるべきだ。	名張市のふるさと納税寄附額も年々増えてきている。通常のふるさと納税に加え、市は企業版ふるさと納税についても基金を創設し、活用を図っている。	■当日の返答どおり
8	市立病院の独立行政法人化について 昨年議会報告会では、独立行政法人化に問題があると判断すれば議会として止めることもできると言われていた。看護師不足で病床の削減という話を聞くが、独法化による待遇の不安により辞める人もいるのではないか。病院の中期目標についてもパブリックコメントが反映されておらず、市民の声が重要視されていないと感じるため、議会ではひとつひとつの意見についてしっかりと協議してほしい。	看護師不足が病床数に影響を及ぼしているというのはその通りである。ただ、独法化を理由に看護師を辞められる方は、あまり多くないと聞いている。パブリックコメントについては今後、議会に対して報告をもらう予定であり、その際に議会としての意見を述べていく。独法化に関しては議員の中でも意見が割れているため、反対する議員の考えについてももしっかり議論しながら協議を進めていく。	■当日の返答どおり
9	中学校給食について 国では小中学校の給食無償化を求める意見も出ている。もし、これが実現されれば、まだ給食センターができておらず、中学校給食を実施できていない名張市はその恩恵を受けることができないのではないか。方式にこだわらず、少しでも早く中学校給食を実施するよう求める。	中学校給食については、令和9年度実施で場所も決まっているため、少しでも早く実施できるよう求めている。また、国において給食の無償化が実施されれば、これまでの国の政策から推測するに、生徒数に応じて交付金が出される可能性があると思うので、その際は、中学生のいる家庭が恩恵を受けられる施策を議会としても協議していきたい。	■当日の返答どおり

	質問・意見	懇談会等での返答	対応
10	(意見) <u>人口減少について</u> 人口減少は名張だけの問題ではない。同じように困っている市町村と一緒に、国と話をしなければならない。		■その他（意見として聞き受ける）
11	(意見) <u>財政について</u> 財政状況が厳しい、夕張と同じようになるといった市民が失望するニュースを出さないでいただきたい。それは、市職員と議員の胸の中にしまっておいて、市民の声を聞いた上で新しい案を出してほしい。そうしなければ、名張から出ていこうと思う人が増えてしまう。道路の維持管理においても、なるべくお金を使わないようにと、職員が自分たちで整備し、頑張っている。物価高騰により、業者への委託料も上がっている中、市の維持管理費を下げるようなことはやめていただきたい。 (その他市民意見) ・維持管理費が上がることは分かりきった話であるため、それを踏まえてどうするかという議論はせざるを得ない。		■その他（意見として聞き受ける）

議会からの返答は令和7年1月19日時点のものになります。